

まこと通信

社会民主党
田川市議会議員

vol.
17号



佐々木まこと後援会ニュース

佐々木まこと後援会事務所 〒826-0044 田川市大字位登876
TEL:0947-42-1866 mail:makt56@hotmail.com



再び、議会で田川の未来を変えたい。



私の姪2人と。次の世代の成長を社会全体で支えるためにも議会で訴えます。

東北地方太平洋沖地震の津波の中継を見てこの世でおきていることか、と目を疑ったのは私だけではないはずです。2万人を超える死者・行方不明者、原子力発電所の放射能漏れによって田川市へも

妊娠中の方が避難されています。被災した皆様に、心からお見舞い申し上げます。
3月17日に議員としての最後の本会議が終了しました。1363名という方々に支えられ議席を頂き、筑豊地域で唯一の20代市議として4年間活動しました。ぶつかりながら前進した毎日でしたが、1期4年全ての議会で発言し、「まこと通信」も延べ10万部発行しながら、政策を訴え続ける議員スタイルを貫いてきました。
「田川の未来は、変えられる。」今回の私のキャッチコピーには、過

去にしばらくは、政策を駆使し、今ここから田川を変えようという私の決意を込めています。今、田川市議に必要なのは、未来を築く力と、市民と共に歩む姿勢、そして政策能力です。今回のまこと通信には私の4年間の軌跡も掲載しています。別紙のピラも含め私ができるような政策で議会に臨んできたのか、臨もうとしているのか、ぜひご覧ください。

田川市議会議員

佐々木まこと

後援会長のひよりひより



3月11日の大地震に端を発した「東日本大震災」は、地震とそれに伴う大津波そして原発事故と、まさに未曾有の大震災となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さ

んに心からお見舞いを申し上げ、一日も早く希望の持てる生活が戻ってくることをお祈りするばかりである。そして、私たちにもできる支援の輪を広げ、ささやかなりとも復興のお役に立ちたいと思う。私たち国民全体が風評やデマに惑わされることなく被災された皆さんや地域を最優先に考え、冷静に行動しなければならぬと思う。この後援会ニュースが届くころには、すべてが好転していることを願うばかりである。

さて、この大震災で被災地の統一自治体選挙は延期されるようである。復興が最優先であり、当然のことと思う。一方で、震災の影響のない地方の統一自治体選挙は予定通り行われる。佐々木まこと君には何としても2期目の当選を果たし、明日の田川の安心・安全な街づくりのために身を粉にして働いてもらいたいと思う。皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

後援会長

伊藤龍文

目次

MAKOTO TSUSHIN vol.17 Contents

2面 一般質問
障がい者の就労支援について 他

3面 2011年度予算
251億1489万円に・市議会議員の報酬引き下げへ

4.5.6.7面 佐々木まこと4年間の歩み
佐々木まことの4年間の活動

8面 インターンシップで学んだこと
議員インターン生の感想

3月議会 一般質問

●本市における障がい者の 就労支援について

質問：本市の臨時・嘱託職員における障害者採用や就労移行支援、チャレンジ雇用、短期雇用制度の創設等、障がい者の雇用の受け入れを行うべき。

答弁：就労移行支援やチャレンジ雇用の受け入れは行っていく。また障がい者は長時間就労が困難な方も多いため、短時間雇用やワークシェアリング等を行い、1人でも多くの障がい者が雇用できるよう取り組んでいく。

質問：市が行っている清掃委託等各種委託契約において、障害のある方を一定人数雇用することを規定することを進めては。また、市が契約している随意契約について福祉事業所との締結を促進すべき。

答弁：指定管理者の選定でも障がい者の雇用の配点を重視する、各種委託業務においても障がい者の雇用を加味した委託契約を考えていくなど、民間企業での障がい者雇用の拡大にも市として取り組む。

●若年層の定住環境の整備と推進について

質問：平原住宅団地が再来年度から売り出しを開始する。来年度から始まる田川市第5次総合計画の重点施策にも移住・定住の促進が盛り込まれていることから、平原住宅団地を活かした若年層の移住・定住の推進を行っていくべきである。

答弁：平原住宅団地の売り出しでは、特



に他市からの移住者に対する助成金等の創設を行っていききたい。また若者定住については住宅地だけではなく、交通や子どもの教育なども含め総合的に進めていきたい。

質問：現在市内約2万世帯のうち4千戸以上ある本市改良住宅を若年層の定住促進にいかせないか。そのためには法律で定められた収入基準月収額11万4千円は低すぎる。内閣府の地域再生本部で地域再生計画を提出するなどし、要件緩和を図るべき。

答弁：改良住宅を若年層の定住促進にいかせるよう、収入基準月収額の緩和のための地域再生計画の提出を行う方向で検討したい。

佐々木は こう思う

障がい者の就労支援について
：早急な実施へ体制整備を
障がい者就労は、例えば授産施設などは月収で1万円未満しかもらえない所も多く、障がい者の自立にはほど遠いのが

現状です。
今回の質問では障がい者の就労支援について、執行部としても推進していくことを答弁しました。早急な体制を整備し、障がい者の就労について自治体として社会的責任を果たすことが求められます。
また田川市の障がい者施策は不十分な点も多く、まだまだ充実しなければなりません。障がい者団体の皆様と連携し、充実強化に向けても取り組んでいきたいと思っております。

若年層の定住環境の整備と推進について：具体的な時期の明示を
若年層の定住促進は私が一般質問で初めて指摘し、第5次総合計画に盛り込まれた項目です。また市が旧産炭地関連諸法の補助金で造成した平原住宅団地でも若年層の移住・定住促進を目的とした助成金等の創設を明言しました。市営住宅も含め、まず若者が結婚して最初に考えなくてはならない居住について市の支援を行うことで、田川に住み続けるきっかけとして頂ければと思います。
もちろん、定住環境は答弁でもあったように、教育や交通など多角的に見っていく必要があります。

2011年度予算251億1489万円に 市立病院への追加支援約4億8千万円などが増加

今年度予算は、人件費や公債費（借金返済）の支出が減少した反面、生活保護費や市立病院への支援金の大幅な増額もあり、前年度に比べ約5億6千万円の増額予算となりました。
特に福祉・医療・生活保護などに使われる民生費が約120億円と全予算の47.7%まで達しています。今後も高齢化等によって、民生費の増加は確実に増えることが予想されます。

●特徴的な予算

小中学校 少人数学級等運営費 …3071万円

昨年、議会による増額修正予算によって始まった小中学校の35人以下学級について、今年度は小学校1年生から4年生、そして中学校に少人数指導教員2名（後藤寺中、鎮西中）を配置します。



市立病院への支援金 …12億858万円

これまでの支援金に加え、4億8400万円の追加支援を行います。これにより、新規に検査用機械の購入や市立病院の財政再建を果たす予定にしています。医師については今後九州大学出身医師を中心に増員することが計画されており、市立病院へ向かう公共交通も計画中です。



生活保護費 …43億9838万円

前年度に比べ約2億2千万円の増額予算となりました。被保護者数は3216人、生活保護を受けている人の割合は全人口の6.38%を予定しており、これは全国平均の数倍高い数字です。また今後、高齢化によって加速度的に増加する可能性があります。



市職員人件費 …32億1005万円

前年度に比べ8076万円の減額予算となりました。また今年度より給与表等が改訂されたことによる減額や勧奨退職者の退職金の増額分などで大きく変動することが予想されます。



統一自治体選関連費 …7049万円

4月に行われる県議選・県知事選・市議選・市長選に関する運営費等の合計です。市長選・市議選の運営費用だけで5746万円もあり、選挙運営にいかにか多くの税金が使われているか分かります。



市議会議員の 報酬引き下げへ

月額2万1千円減額へ

3月議会では、田川市特別職報酬等審議会で議員の報酬減額が答申されたことを受け、報酬の減額が提案、全会一致で可決成立しました。現在の41万5千円から39万4千円に減額されます。
目下の財政状況では削減は致し方ないと思っております。ただそもそも議員というものは、多様な問題意識を持った市民で構成されるべきであるの言うまでもなく、議員歳費とは別の収入がなければ議員として活動できない、また生活ができないという状況では、市民が市民の信を得て政治に参加する権利を保障することが困難になるのも明白です。

以上の点からも議員報酬のあり方を単に「高い、低い」と言った議論に終始するのではなく、議会が市民に求められる役割を果たせるための報酬体系のあり方などを体系的に考える必要があるかと思っております。その点でも今後もしっかりと精査し、丁寧な議論を行うことが求められます。

	改定前	改定後
議長	51万2千円	47万6千円
副議長	44万5千円	42万2千円
議員	41万5千円	39万4千円

佐々木まこと4年間の歩み



ACTIVITIES OF FOUR YEARS
04

4年間、16回の全ての議会で一般質問を行いました！

Action 01 一般質問

成果

- 一般質問の成果(主なもの)**
- 1、入札改革は7回にわたり追求。情報公開が進み2011年度からは全面的見直しが決まっています。
 - 2、市税等の支払いについて、利便性の高いコンビニでの収納を訴え、来年度から実施に向けた期間整備を行います。
 - 3、市臨時・嘱託職員の待遇について最低賃金に近い給与と、昇級等処遇面での不備を指摘。昨年度から給与が増額されたほか、嘱託職員の雇用期間延長や昇級も改善されました。
 - 4、認知症高齢者の行方不明事件が市内で発生したことに対し、GPS付携帯端末の購入助成金の創設を要望。実現しました。
 - 5、若年層の定住促進を議会で2回にわたり訴え、市総合計画の重点施策に決定。2012年度から売り出しが開始される平原住宅団地で購入助成を行うことも決まっています。
 - 6、ひとり親家庭支援の充実や、各種サービスの分かりやすい冊子の作成を要望。ハンドブックは作成され、体制の充実も実現しました。
 - 7、障がい者の就労支援について、短期雇用や就労移行支援等を市としても実施すべきと質問。2011年度から受け入れの強化を行うことを表明、体制整備が図られます。

一般質問の内容

- 07年 6月議会**
- 1、第4次行政改革大綱及び実施計画について
 - 2、市長の退職手当について
- 07年 9月議会**
- 1、本市における入札改革の取り組みと今後について
 - 2、小児科の平日夜間の取り組みについて
 - 3、市税のコンビニ支払いの可能性について
 - 4、猪位金診療所の今後について
- 07年 12月議会**
- 1、本市における入札改革の取り組みと今後について
 - 2、本市における納税環境の整備と今後について
- 08年 3月議会**
- 1、田川市行政改革の推進状況について
 - 2、田川市の子育て施策の充実について
- 08年 6月議会**
- 1、緊急通報システムの改善・拡充について
 - 2、本市における入札改革の取り組みと今後について
- 08年 9月議会**
- 1、市役所の総合窓口の創設と市民サービスの向上について
 - 2、第5次総合計画策定における市民自治の推進について
 - 3、「広報たがわ」の配布について
- 08年 12月議会**
- 1、田川市立病院のあり方について
 - 2、市役所の物品購入・委託契約のあり方について
- 09年 3月議会**
- 1、入札・契約制度改革の取り組みと今後について
 - 2、外部包括監査制度の導入及び会計管理者のあり方について
- 09年 6月議会**
- 1、市職員の人事政策について
- 09年 9月議会**
- 1、若年層の定住対策について
- 09年 12月議会**
- 1、入札・契約制度改革と公契約条例の制定について
 - 2、本市公共施設等におけるアセットマネジメントの導入について
- 10年 3月議会**
- 1、田川市立後藤寺幼稚園の現状と今後について
 - 2、市立保育園保育士の採用について
- 10年 6月議会**
- 1、ひとり親家庭の支援体制の整備・充実について
 - 2、配偶者からの暴力防止及び被害者の保護・自立支援について
- 10年 9月議会**
- 1、本市の人事政策について
 - 2、本市の子育て・幼児教育環境の充実について
- 10年 12月議会**
- 1、本市学校教育環境の充実と課題について
 - 2、市購入の常備物品の単価契約について
- 11年 3月議会**
- 1、障がい者の就労支援について
 - 2、若年層の定住環境の整備と推進について

Action 02 議会活動

議会では財政やまちづくり、教育に関して専門的に議論する総務文教委員会に所属し、2年間副委員長も務めました。委員会として少人数学級の増額修正案を可決成立(全国初)なども手がけました。また田川地区清掃施設組合の監査委員として行政監査を実施、不正を正しました。



田川市川崎町清掃センターにて監査をしている様子(写真左)



田川地区の行政監査結果報告について記者会見を行いました



総務文教委員会で埼玉県北本市を視察。



総務文教委員会の視察で神奈川県厚木市へ。総合計画について勉強しました。

Action 03 議員インターンシップ

私も大学1年生の時に議員インターンを経験しました。その時の活動が今の議員生活に大いに生かされています。若者の政治離れが進む中で、20代議員として多くの学生が政治に興味を持ってもらいたいと思い、4年間で延べ12名の大学生を受け入れました。私自身も色んな刺激を学生にももらいます。





地元猪位金・位登地区で行われている獅子舞を奉納しました。



第11師団第7分団格納庫落成式で来賓挨拶をしました。



高齢者デイサービスで挨拶。福祉の充実もしっかり訴えています。



長年の要望だった道路改良を実現

2007-2011
Action 06
地元・地域活動

地元猪位金を中心に、地元の声を議会に届けるための活動や、地域の方々との交流等も行ってきました。道路整備や、水路改良、市民相談もこれまで100件以上受け付けています。市民相談は議員活動の基本だと思っています。これからも市民に寄り添う議員として活動を続けます。



社民党第12回定期全国大会で代議員として発言しました。



中国共産党中央対外連絡部の李軍2局局長と会談



添田町議選に立候補した久保田実生さんと。私も選対事務局を担当。見事大幅に票を伸ばして再選しました。

2007-2011
Action 07
選挙・党活動

市民と共に歩む議員を全国で一人でも誕生させたいという思いで、党派に関係なく、全国各地の友人の選挙を応援しました。また社民党として中国との交流事業に参加したほか、党全国大会では代議員として党改革についてタブーを恐れず訴えを行いました。社会民主主義の実現のため、これからも地域でがんばります。



京都府長岡京市の尾崎百合子さんの選挙応援。見事上位当選を果たしました。



市民と議員の条例づくり交流会議IN九州で、パネリストとして議会改革の必要性を訴えました。



福岡市が実施した「事業の仕分け」を傍聴しました。



日本ツイッター学会設立記念シンポジウムで講演。学会理事にも就任しています。



大学主催の地方議員向け研修会に参加。

2007-2011
Action 04
議員活動

議員としての政策形成能力の向上は議会改革と共に大きく求められています。議員就任直後から、勉強会には積極的に参加し、全国各地の先進事例を学びました。また私自身も市民と議員の条例づくり交流会議や自治体学会などで議会改革等を発表しました。またツイッター学会設立総会に参加。学会理事として活動しています。



▲ホームページ



佐々木まことの日々の活動をつづるブログ、毎日更新
佐々木まことの 日進月歩
http://sasakimakoto.net/



▲母校・龍谷大学案内誌に紹介されました。



▲ツイッター



▲まこと通信

2007-2011
Action 05
広報活動

「議員が何をしているか分からない」というのが、市民の議員に対する不信の一つになっているのは事実です。これまで4年間、毎日かかさずホームページ「佐々木まことの日進月歩」で情報発信を行ったほか、後援会誌「まこと通信」をこれまで10万部発行し、議員としての活動や市の動きなどをお伝えしてきました。ツイッターでは1000人以上の方が私の「つぶやき」を見ています。

議員インターン生の感想 インターンシップ で学んだこと

議員インターンシップとは…

春休み・冬休みの2カ月間、議員と行動しながら、政治や議員の役割などについて直接体験し、政治への関心を高め、自分の将来や今後の生活に活かす事を目的としています。私自身、大学1年生の時に議員インターンシップを受け、政治をより身近に感じることができたりしました。これまで計12名の学生を受け入れています。

今回、この議員インターンシップを通して政治に対しての見方が180度変わりました。以前まで議員とは、威張っていて議員になることがゴールであるという

イメージでしたが、自分を受け入れてくださった佐々木議員を見て、ほぼ年中無休状態で予想以上に忙しく妥協を許さない職業だと感じました。議会などでもいつも市民目線で意見を述べ挨拶回りや街頭演説を欠かさないところが真の議員だと思いました。

なり、議員と支援者との関係は、恋人のような密接な関係と思いました。またこの貴重な2カ月の経験は、自分にとって非常に充実しこれからの人生に活かしていけることが多々あると思います。受け入れてくださった佐々木議員をはじめ多くの関係者に感謝しています。

要領、目上の方との接し方やマナー、政治の様相、そして自分の弱さなど、多くのことを学ぶことができ、本当に充実した1カ月を過ごすことができましたように思います。また佐々木議員の向上心、政治に対する熱意、市民のことを真剣に考えた取り組みは、それを拝見してきた自分にとって大きな刺激にもなりました。

福岡大学2年 黒川潤也



一カ月の間、佐々木議員の事務所であわせていただき、多くの出逢いを経験するだけでなく、さまざまな体験をさせていただきました。そうした中で、仕事の

今回のインターンシップを通して、働

く、社会人になるということは、自分の行動に責任を持って考え動けるようになること、自分よりも他の誰かのために行動できるようになることだと感じました。大切なことを教えていただき、本当にありがとございます。この経験を活かし、残りの大学生活、立派な社会人を目標に経験を積んでいきたいと思っています。

九州大学2年 町田絵梨

市民相談・無料法律相談 受け付けています。

市民相談、労働相談など各種相談をいつでも受け付けています。また月1回、弁護士による無料法律相談も行っていますので、お気軽に電話、メールでお問い合わせください。

連絡先 0947-42-1866
mail:makt56@hotmail.com

佐々木まこと経歴 SASAKI Makoto Profile



1981年5月 田川市で出生
1997年3月 田川市立猪位金中学校卒業
2000年3月 福岡県立東鷹高等学校卒業
2004年3月 龍谷大学法学部政治学科卒業
2006年3月 北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)
2006年3月 社会福祉法人猪位金福祉会暖家の丘入社(現)
2007年4月 田川市議会議員当選(25人中7位・1363票)
現在 総務文教委員会副委員長、田川地区清掃施設組合議会監査委員、社民党福岡県連合青少年局長、社会新報地方記者、東鷹同窓会理事